

新春のご挨拶

深浦町長
平沢 一臣



新年おめでとございます。皆さまには、健やかに新年を迎えられたこと心よりお喜び申し上げます。昨年11月に行われました深浦町長選挙におきまして、町民の皆さまを始め、各方面から力強いご支援とあたたかいご厚情により、当選の栄に浴することができました。

責任の重さに身の引き締まる思いと、深浦町の持続発展に情熱を注ぐ決意を新たにしています。吉田前町長が取り組んでこられた様々な施策の背景や目的、効果等を一つひとつ学びながら、新たな視点を取り入れて人口減少社会における深浦町にふさわしいまちづくりを進めて参る覚悟です。町長選挙を通じて私は、「ふかうらまち新時代への挑戦！みんなと共に創る地域へ」をテーマに、次に掲げる八つの挑戦・施策に取り組みすることを訴えさせていただきます。

- 1 子ども中心のまちづくりへの挑戦**
子育てや教育にかかる費用の見直しと支援、遊び場の整備や子育て環境の充実。
- 2 高齢者が元気になるまちづくりへの挑戦**
生きがいづくりと健康寿命の延伸、介護予防の充実や多世代交流ができるコミュニティ環境の整備。
- 3 スポーツや芸術・文化が活気づくまちづくりへの挑戦**
生涯教育や娯楽、子どもたちの夢や希望を推進していくための施策の展開。
- 4 各産業が元気になるまちづくりへの挑戦**
各産業の活性化を図り、SDGs、カーボンニュートラル、再生可能エネルギー分野振興への挑戦。
- 5 防災のまちづくりへの挑戦**
住んでいる人が安心して暮らせるまちづくり推進。
- 6 障がい者・ひきこもり対策への挑戦**
障がい者の生活と権利を守る。ひきこもりの方々を含め誰もが社会とのつながりを持てる地域づくりの展開。
- 7 定住・移住・空き家対策促進への挑戦**
域外から人を呼び込むための政策推進。空き家や遊休施設の有効活用によるまちの賑わい復活。

8 活力あるまちづくりへの挑戦
集落ごとのエリアマネジメント実施。それぞれの地域に合わせた地域づくりを官民連携で展開。こうした施策を着実に進めていく中で、ふかうらまち新時代の到来を実感していただけるよう、誠心誠意尽くしてまいります。

さて、令和6年11月22日に閣議決定がなされた「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」には、2014年から始まった地方創生の取組に關し改善の余地が多分にありと評価した上で、新たな地方創生施策（「地方創生2.0」）を展開するとしています。

生産年齢人口及び高齢者人口がともに減少する地方部では、コミュニティの機能維持が課題となる一方で、子ども・若年者向けに政策資源を配分できれば、現役世代を対象とする行政サービスが充実することも期待できるとし、地域資源を活かした農林水産業、観光、文化・芸術の振興など、付加価値を生み出す新しい地方経済の創出を目指すことが盛り込まれています。

国が掲げる方針を的確に把握し、深浦町にふさわしい地方創生の取組に果敢に挑戦してまいります。深浦町は、令和7年3月31日に、町村合併20周年を迎えます。この間私たちは、コロナ禍や2年連続した豪雨災害を始めとした多くの難局を、力を合わせて乗り越えてきました。

この経験から得た自信は、ふるさとの持続発展の原動力となるはず。まちづくりへの挑戦は、より多くの方々の共感の下で進めていかなければなりません。引き続き、ご理解ご協力をいただきますとともに、ご指導ご鞭撻を賜りますことを切にお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますことを心から祈念いたしまして、町長就任にあつての決意と、年頭のあいさつとさせていただきます。

また、西崎前町長の辞職に伴う町長選挙で新人4人による選挙戦を制し、初当選。在任中、北金ヶ沢総合防災センターの整備や深浦診療所の開設といった地域づくりの拠点整備、農林業の6次産業化や食による観光振興、町のPRや地域の活性化、様々な町の課題に取り組みしました。

また、貨物船アンファン号の座礁事故や米軍によるF16燃料タンク投棄、令和4・5年と2年連続で発生した大雨災害など、多くのトラブルや災害に対応してきました。

吉田満氏が町長勇退

12月20日、平成20年から4期16年にわたり町長を務めた吉田満氏が任期満了を迎えました。退任のあいさつで吉田氏は「16年間、本当にお世話になりました。未熟な町長で1期、2期目は本当に何もわからない状況の中で課題に取り組んできました。本当に多くの方々を支えられてきました」と感謝を述べ、「深浦町職員は立派だと思われるようにこれからも研鑽を積んでいただきたい」と集まった職員へ激励の言葉を贈りました。

職員から花束が贈られ、大きな拍手に見送られながら晴れやかな表情で庁舎に別れを告げました。

吉田氏は、町村合併後の町議会議員を2期務

平沢町政 始動

12月23日8時30分、多くの職員に出迎えられ、平沢一臣町長が初登庁しました。玄関で職員から花束を受け取った平沢町長は「これからよろしくお願いします」と笑顔で挨拶。その後、役場文化ホールで行われた職員への訓示では、「職員全員が町民のため、町の未来のためにまちづくりに取り組めることを誇りに思い、初心を忘れることのないよう一緒に頑張りましょう。住む人も訪れる人も希望で満ち溢れ、ワクワクする深浦町を目指すため、情熱をもって、一丸となって努力しましょう」と力強く語りました。



プロフィール

昭和49年9月21日轟木生まれ。50歳。鯉ヶ沢高校、国際武道大学体育学部卒。広告代理店、木材会社、病院勤務を経て、社会福祉法人西寿会理事長就任、総合型地域スポーツクラブ「JoySpo!ふかうら」会長を務める。妻と娘2人の4人家族。趣味はスポーツ、読書とお酒を少々。言語聴覚士（国家資格）などの資格を有する。町長の任期は令和6年12月21日～令和10年12月20日

